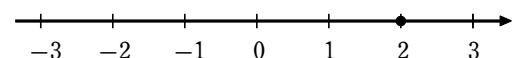


右下の数直線を見てください。2を表す位置に点があります。
この点から3だけ左の位置にある点を
数直線上に記してみましょう。



[1] 次の空らんにあてはまる数やことばを入れなさい。

(1) 「北へ -5 m 進む」は「南へ m 進む」と同じ(2) 「弟は兄より -8 cm 背が高い」は「弟は兄より 8 cm 背が 」と同じ(3) 「前回の試験より 5 点下がった」は「前回の試験より 点上がった」と同じ(4) 「7より -2 だけ大きい」は「7より 2 だけ 」と同じ**まとめ**

負の数は反対の意味を表します。

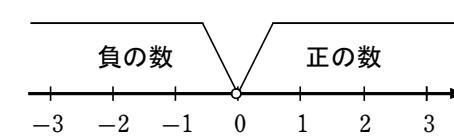
[2] 次の数を答えなさい。

(1) 0より7大きい数

(2) 0より4小さい数

(3) 5より3大きい数

(4) 2より5小さい数

(5) -10 より6大きい数(6) -1 より8小さい数**まとめ**0より大きい数を ,0より小さい数を といいます。

0はどちらでもありません。

[3] (正の数、負の数のたし算、ひき算)

(1) $2 + (-3) = 2 - \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$

(2) $2 - (-3.5) = 2 + \boxed{\quad} = \boxed{\quad}$

[教科書 p.8 例1]

$-(-3.5) = +3.5$ です。
つまり、「 -3.5 をひく」は、「 3.5 をたす」と同じです。

[4] 次の計算をしなさい。

(1) $5 + (-7)$

(2) $1 - (-2)$

(3) $-3 + 6$

(4) $-5 - (-5)$

(5) $4 + (-1.3)$

(6) $8 - (-6.2)$

[教科書 p.8 練習1]

▶ 正の数、負の数のかけ算では、符号 +, - に注意しましょう。

$$\begin{array}{ll} (+) \times (+) = (+), & (-) \times (-) = (+) \\ (+) \times (-) = (-), & (-) \times (+) = (-) \end{array}$$

← 同じ 符号の2数の積は正
異なる 符号の2数の積は負

[5] (正の数、負の数のかけ算)

(1) $(-3) \times 4 = \boxed{\quad}$

(2) $(-3) \times (-4) = \boxed{\quad}$

[教科書 p.9 例2]

[6] 次の計算をしなさい。

(1) $(-5) \times 3$

(2) $2 \times (-4)$

(3) $(-2) \times (-4)$

[教科書 p.7 練習2]

7 次の計算をしなさい。

(1) $(-1) \times 1 = \boxed{}$

(2) $(-1) \times (-1) = \boxed{}$

(3) $(-1) \times (-1) \times (-1) = \boxed{}$

(4) $(-1) \times (-1) \times (-1) \times (-1) = \boxed{}$

まとめ

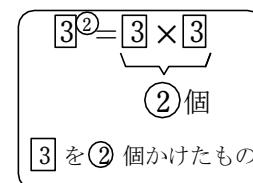
負の数を奇数個かけると -

負の数を偶数個かけると +

▶ $2 \times 2 \times 2 = 2^3$ のように、同じ数を何個かかけたものは、
累乗の形で表します。 ← 2^3 は「2の3乗」と読みます。

8 (累乗の計算)

(1) $3^2 = 3 \times 3 = \boxed{}$



[教科書 p.9 例 3]

(2) $(-2)^3 = (-2) \times (-2) \times (-2) = \boxed{}$

9 次の計算をしなさい。

[教科書 p.9 練習 3]

(1) 4^3

(2) $(-6)^2$

(3) $(-1)^5$

▶ 分数の計算は、次のようにします。

- ① 分母の異なる場合のたし算、ひき算は、通分してから行う。
- ② かけ算は、分母どうし、分子どうしをかける。
- ③わり算は、わる数の分母と分子を逆にしてかける。

10 (分数の計算)

[教科書 p.9 例 4]

$$(1) \frac{1}{3} + \frac{7}{6} = \frac{1 \times \boxed{}}{3 \times \boxed{}} + \frac{7}{6} = \frac{\boxed{}}{6} + \frac{7}{6}$$

← 3と6の最小公倍数6が分母になるように通分します。

$$= \frac{\boxed{} + \boxed{}}{6} = \frac{\boxed{}}{6} = \boxed{}$$

$$(2) \frac{1}{2} \times \frac{8}{3} = \frac{1 \times 8}{2 \times 3} = \boxed{}$$

← 約分できるときは、必ず約分します。

$$(3) \frac{1}{2} \div \frac{3}{5} = \frac{1}{2} \times \boxed{} = \frac{1 \times \boxed{}}{2 \times \boxed{}} = \boxed{}$$

11 次の計算をしなさい。

(1) $\frac{1}{4} + \frac{5}{4} = \boxed{}$

(2) $\frac{1}{2} + \frac{3}{8} = \boxed{}$

(3) $\frac{1}{4} - \frac{1}{6} = \boxed{}$

(4) $3 - \frac{2}{5} = \boxed{}$

(5) $\frac{1}{3} \times \frac{5}{6} = \boxed{}$

(6) $\frac{3}{8} \times \frac{2}{3} = \boxed{}$

(7) $\frac{3}{7} \div \frac{6}{7} = \boxed{}$

(8) $\frac{1}{3} \div \frac{5}{6} = \boxed{}$

振り返り

① どのような内容を学習しましたか。

● $(+) \times (+) = (+), \quad (-) \times (-) = (\boxed{})$

$(+) \times (-) = (-), \quad (-) \times (+) = (\boxed{})$

● 分数の計算では

分母の異なる場合のたし算、ひき算は、通分してから行う。
かけ算は、分母どうし、分子どうしをかける。
わり算は、わる数の分母と分子を $\boxed{}$ にしてかける。

② **目標**は達成できましたか。

できた

まあまあ

あまりできなかった